



施工法の検討結果

2021年5月27日

		① 迂回路案	② 半断面施工案	③ 通行止め案
施工条件	平面図			
	施工方法	片側1車線の仮設迂回路を上下線に設置し、既設橋を撤去・更新	既設橋を上下線分割で車線運用しながら、半断面ずつ撤去・更新	喜連瓜破～三宅間の本線通行止めを行い、上下線一括で撤去・更新
	高速本線供用	2車線（片側1車線）		通行止め
	喜連瓜破ランプの供用可否	不可	可能	可能
地域影響	沿道（住居・店舗）	<ul style="list-style-type: none"> 迂回路構築中は東側西側の住居や店舗から車道へのアクセスが妨げられる。 迂回路の多数の柱により車道へのアクセスが妨げられる。 迂回路の柱が住居や店舗に直面するため影響が大きい。 迂回路が都市空間形成へ影響する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮橋脚構築中は東側の住居や店舗から車道へのアクセスが妨げられる。 仮橋脚が店舗に直面するため影響が大きい。 仮橋脚が都市空間形成へ影響する。 	影響なし
	歩行者・自転車	<ul style="list-style-type: none"> 迂回路構築中は歩道の十分な幅員確保が困難。 歩道に迂回路の柱があり、通行に支障及び視認性が阻害される。 	<ul style="list-style-type: none"> 仮橋脚構築中は歩道の十分な幅員確保が困難。 仮橋脚構築後も、歩道幅員が現況より大幅に狭くなる。 仮橋脚により、交差点付近の視認性が阻害される。 	影響なし
工期		約12年	約10年	約4年（本線通行止め期間：2.8年）
交通影響	高速道路	<ul style="list-style-type: none"> 近畿自動車道の渋滞が延伸 松原線の車線規制による車線減少部で渋滞が発生 		<ul style="list-style-type: none"> 近畿道や中国自動車道の渋滞が延伸 松原線の喜連瓜破を先頭に渋滞が発生 東大阪線の渋滞が延伸
	一般道路	工事規制箇所や、並行する南北道路等で渋滞が発生	工事規制箇所ですら渋滞が発生	工事箇所（南北道路）や、その周辺の道路（南北道路・東西道路）で、渋滞が発生